

【国家公務員一般職試験】  
防衛省 本省所在機関



## 主なポイント

- ☑ 防衛省の使命
- ☑ 本省所在機関とは？
- ☑ 本省所在機関採用の  
キャリアパス

- 1 我が国周辺の安全保障環境
- 2 防衛省の使命
- 3 防衛省職員の役割
- 4 本省所在機関とは
- 5 防衛省・自衛隊の組織
- 6 本省所在機関の紹介
- 7 本省所在機関の業務内容
- 8 キャリアパスのイメージ
- 9 採用区分
- 10 採用予定者数
- 11 おわりに

## 地理的条件

### 四方を海で囲まれた海洋国家

- ・本土から離れた多くの島嶼及び広大な排他的経済水域を有している
- ・エネルギー資源や食料の多くを海外との貿易に依存

## 安全保障環境

### 我が国周辺には、質・量に優れた軍事力を有する国家が集中し、軍事活動の活発化の傾向が顕著

- ・インド太平洋地域は、十分な安全保障面の地域協力の枠組みなし
- ・近年、国家間の競争が顕在化

## 国内事情

### 少子高齢化・人口減少が進展し、厳しい財政事情が続いている

**ロシア**  
ウクライナ侵略

**北朝鮮**  
核・ミサイル開発

**中国**  
尖閣諸島をめぐる問題  
力による一方的な現状変更の試みを執拗に継続

**台湾**  
南シナ海をめぐる問題  
力による一方的な現状変更及びその既成事実化を推進

【朝鮮中央通信】  
北朝鮮が発射した  
新型 I C B M 級弾道ミサイル  
「火星17」型（2022年11月）



中露艦艇が共同航行  
(2021年10月)



尖閣諸島周辺で活動する  
中国軍艦艇ジャンウェイ  
II 級フリゲート

防衛省は、  
我が国の平和と独立を守り、  
国の安全を保つため、  
様々な使命を担っている。

## 我が国の 安全保障の確保



## 国際平和協力活動 海賊対処活動



## 災害派遣



## 事務官等 (事務官・技官)

約2.1万人



政策・制度のプロ

政策立案、法律案等作成、対外説明を担当  
政策・制度面で防衛大臣を補佐

## 自衛官

約24.7万人



軍事のプロ

軍事作戦の立案、部隊指揮を主に担当  
軍事面で防衛大臣を補佐



## 本省所在機関とは？

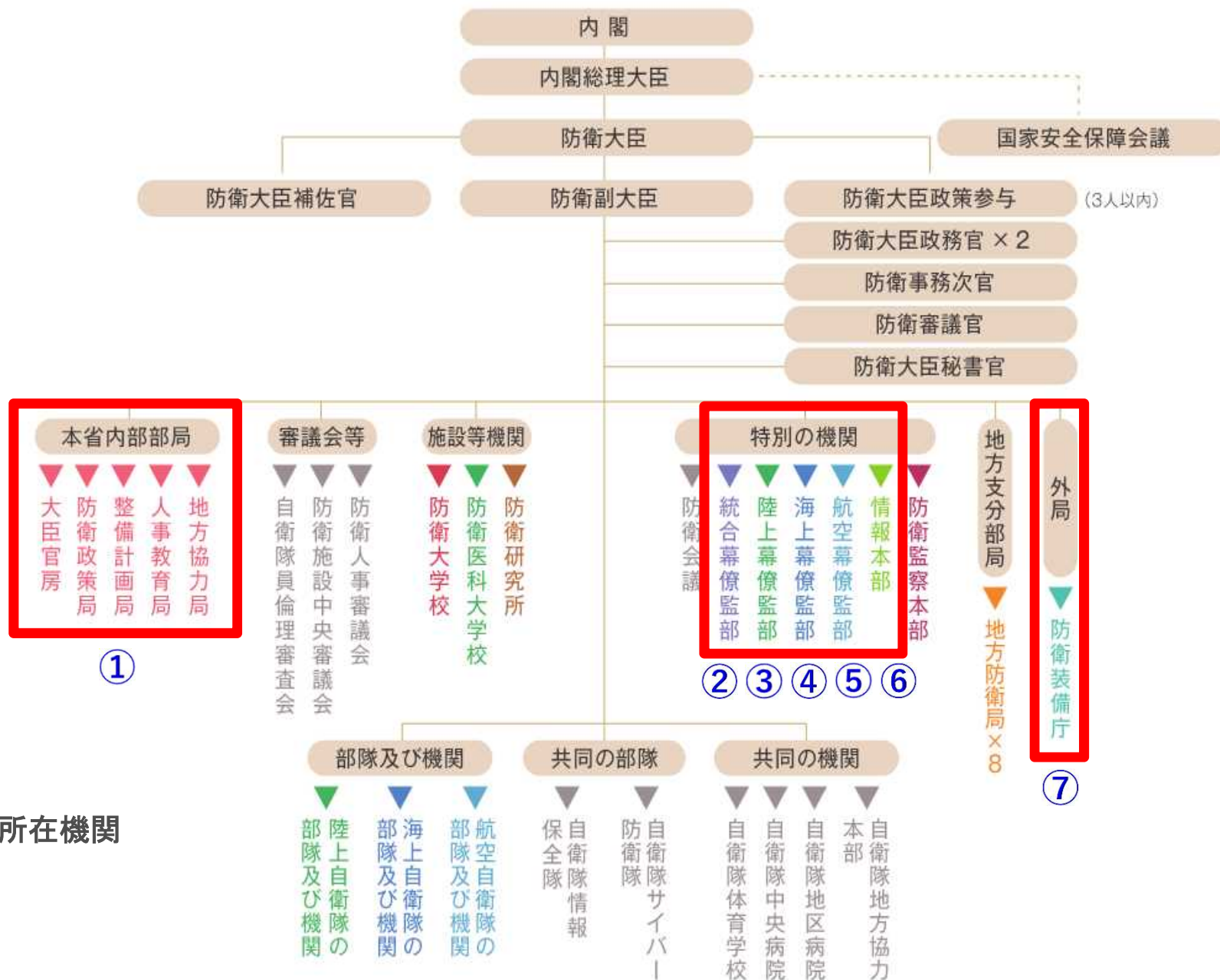
防衛省本省の内部部局、各幕僚監部（統合幕僚学校及び自衛隊サイバー防衛隊を除く。）、情報本部（通信所を除く。）及び防衛装備庁（内部部局に限る。）をいう。



## 2021年度に新設された採用区分

- ✓ 我が国を取り巻く安全保障環境が極めて速いスピードで変化している中において、本省所在機関で勤務経験を積み、将来、**防衛政策のスペシャリスト**として内閣総理大臣や防衛大臣を政策・制度面で補佐する立場となって活躍することが可能。
- ✓ 採用後は、我が国の防衛政策や自衛隊の運用、情報等に係る施策の企画立案や推進を担当し、将来、本省内部部局をはじめとする本省所在機関の管理職員を目指すことのできる採用区分。

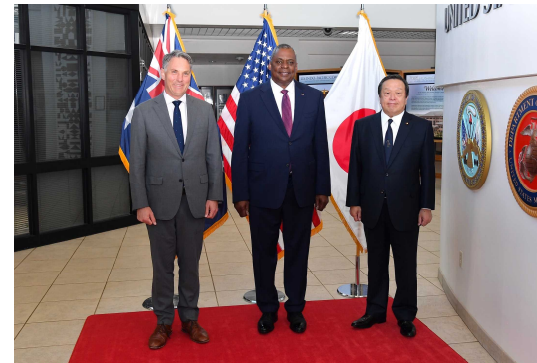
# 防衛省・自衛隊の組織



## ① 本省内部部局 —防衛政策の中核で新たなミッションに挑戦する—

### ✓ 次世代の国防を担う

国民の生命と平和な暮らしを守り抜き、国際社会の平和と安定に貢献するため、総合職職員とともに**主に政策の企画立案に従事**する。



### ✓ 政策的見地から防衛大臣を補佐

本省内部部局は事務官等が主体の組織。各部局は、安全保障環境を踏まえ防衛政策を立案し、それを装備体系・部隊編成、諸外国との連携、地元との協力確保、基盤（人的・技術・産業）強化などに反映させていく。

### ✓ 安全保障という広大なフィールド

世界各国との安全保障協力、従来の陸・海・空という領域に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域において求められる安全保障上の取組など、防衛省が必要とされるフィールドは多岐にわたる。



## 本省所在機関の紹介

### 大臣官房

職員（事務官等）人事、省内事務の総合調整、広報、会計などに関する業務を実施

### 防衛政策局

我が国の防衛政策の立案、他国との防衛交流、情報の収集・分析などに関する業務を実施

### 整備計画局

自衛隊部隊の編制・装備、情報通信、自衛隊等の施設の取得、管理、建設工事の実施などに関する業務を実施

### 人事教育局

自衛官等の人事・福利厚生・給与制度・教育などに関する業務を実施

### 地方協力局

全国の基地所在地方公共団体やその周辺住民の方々に対し、防衛省の政策等について理解・協力を得るための施策などに関する業務を実施

## ② 統合幕僚監部 —自衛隊の運用に関する軍事専門的見地から防衛大臣を一元的に補佐—

- ✓ 防衛出動や災害派遣、国際平和協力活動をはじめとする陸・海・空3自衛隊の部隊行動に際し、**統一的な計画を立案、その運用をつかさどる組織**として設置され、軍事専門的観点から防衛大臣を一元的に補佐している。
- ✓ 弾道ミサイルへの対処や東シナ海をはじめとする我が国の周辺海空域における警戒監視、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動、数々の国際平和協力活動や国内外で発生する自然災害への対応など広範に活動するとともに、近年重大性が増しているサイバー領域においても、24時間態勢で防衛省の通信ネットワーク及び通信システム等を監視し、サイバー攻撃に対処する。



## 本省所在機関採用の若手職員 —自衛官と共に、人的基盤の未来を見据える—



- ☑ **業務内容**  
事務官等の人事業務に幅広く携わる。  
採用から経歴管理、入校や表彰、退職まで職員の処遇に直結することが多い。
- ☑ **やりがい**  
1人1人の将来を考慮しながら業務を遂行することの大切さを感じることができる。
- ☑ **本省所在機関を志望した理由**  
幕僚監部において現場に対する広範な知識を培い、その知見をもって国内外で活躍する隊員をリードするための法整備に携わりたいと思ったため。

## ③ 陸上幕僚監部 —安全・安心・平和、自衛官と共に—

- ✓ 陸上自衛隊は、国民の身近な存在として常に「安全・安心・平和」を守るため、各種事態への抑止及び対処、多次元統合防衛力を実現する陸上防衛力の整備を推進しつつ、大規模災害発生時にはいかなる状況にもいち早く対応できるよう万全を期するなど、**平時から有事までのあらゆる事態において我が国の防衛の中核となる組織。**
- ✓ 防衛省内最大規模となる約7,400名の職員が在籍しており、部隊等は全国に約200ヶ所以上所在している。陸上幕僚監部は、その司令塔としての役割を担う。



## 本省所在機関採用の若手職員 *—様々な業務に自ら挑戦し、日々成長—*



### ☑ 業務内容

国賓や国防大臣が来日する際に敬意を表するための儀式である特別儀仗に関する調整業務を担当。具体的には、特別議儀仗隊の活動の根拠となる通達の作成や現地における進行管理等を担当する。

### ☑ やりがい

防衛の中枢を担う機関の勤務を経験できることが魅力。1年目から特別儀仗の業務の担当者として勤務し、初めて自ら作成した通達を根拠に部隊が行動した際は、非常にやりがいを感じた。

## ④ 海上幕僚監部 —海洋国家たる我が国の周辺海域の防衛と海上交通の安全確保—

- ✓ 海上自衛隊は、海上からの侵略に対し国土を防衛するとともに、我が国周辺海域における海上交通の安全を確保することを主な任務としている。
- ✓ 護衛艦、潜水艦、航空機等の様々な装備品を効率的に運用し、大規模災害等各種事態への対応及びソマリア沖における海賊対処をはじめとした国際平和協力業務や国際緊急援助活動等、国際社会におけるより安定した安全保障環境構築への貢献といった役割も果たしており、海上幕僚監部はその司令塔としての役割を担う。



## ⑤ 航空幕僚監部 —空と宇宙を守り抜く—

- ✓ 我が国では、地上における警察、海における海上保安庁に相当する「空における警察力」が存在しない。そのため、航空自衛隊は、**平時から有事まで一貫して我が国の空の平和と安全を担う唯一の組織**となっている。
- ✓ 従来の領域（領空）に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域への対応に取り組んでいる。
- ✓ 我が国の宇宙空間の安定的利用を確保するため2020年5月の「宇宙作戦隊」新編に続き、2022年3月に「宇宙作戦群」を新編するなど、航空自衛隊は進化を続けており、航空幕僚監部はその司令塔としての役割を担う。



## 本省所在機関採用の若手職員 —航空幕僚監部で空を知る—

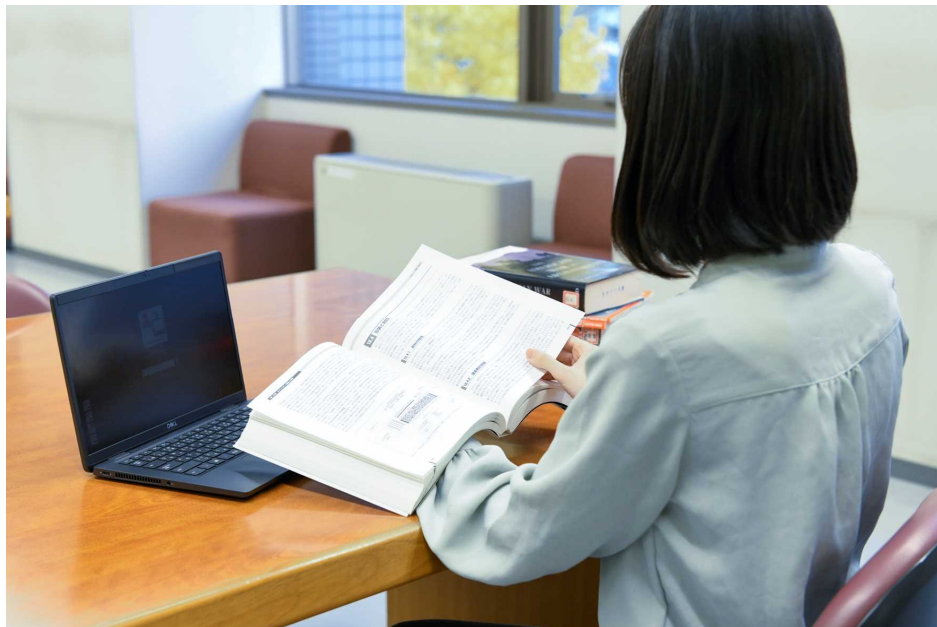


- ☑ **業務内容**  
航空自衛隊の予算管理を担当。北海道から沖縄に広がる各基地において、あらゆる空自予算の執行業務に携わる。
- ☑ **やりがい**  
組織が何にお金を使い、どう動こうとしているのかをタイムリーに感じることができる。
- ☑ **仕事で普段心がけていること**  
幕僚監部で知識を深めること。予算業務を主とした防衛行政の現場を訪れて多くの知見を獲得。  
今後、幕僚監部での経験を活かして、内部部局でキャリアアップしていきたい。



## ⑥ 情報本部 —情報を仕事に、日本と世界の平和と繁栄のために—

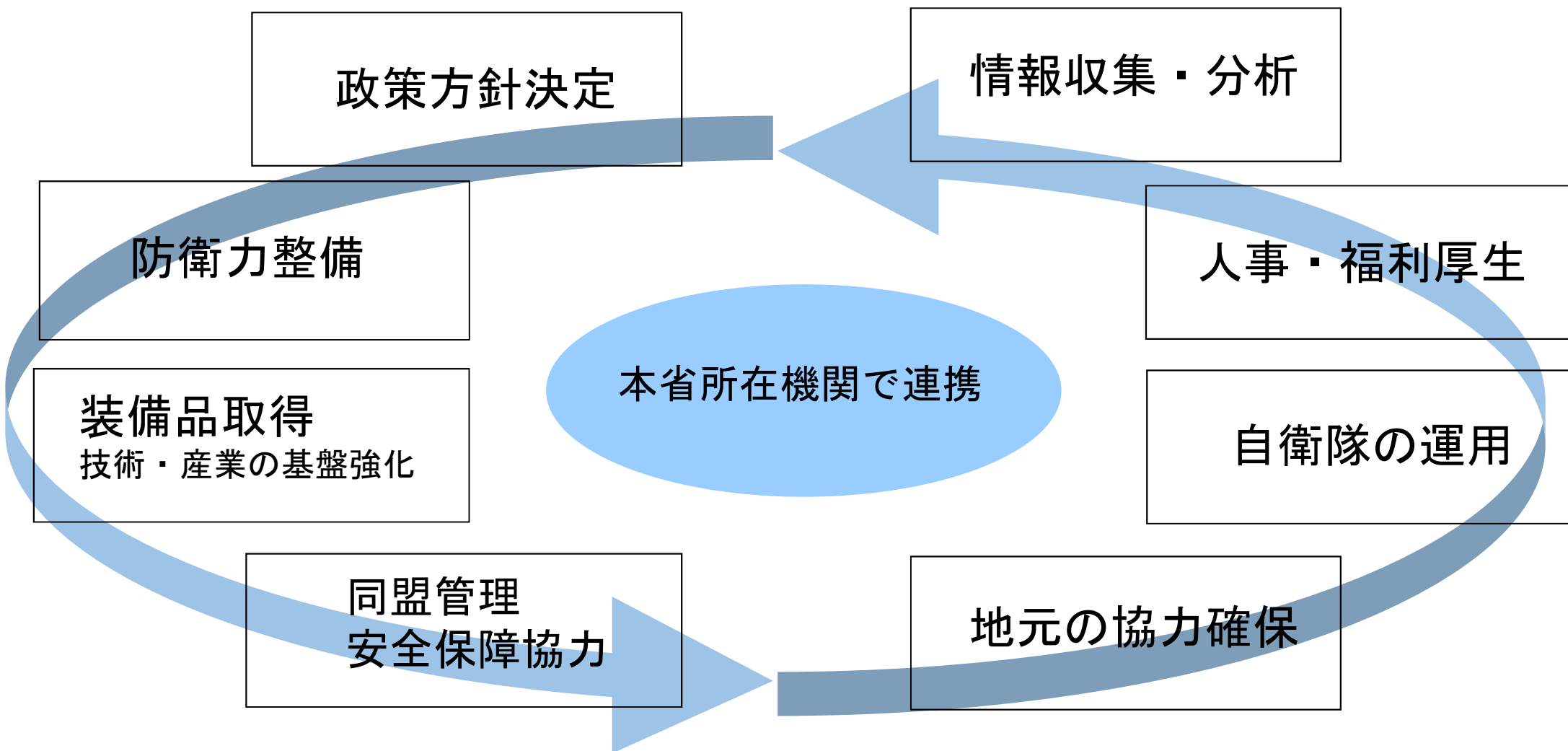
- ✓ 我が国の情報機能の重要性と冷戦後の国際情勢の変化を踏まえ、1997年に創設された、**我が国最大の情報機関。**
- ✓ 電波、画像・地理情報を収集して解析するのみならず、集約・整理した公刊情報等と融合し、総合的な分析に基づくプロダクトを提供することができる、我が国唯一無二の機能を有している。
- ✓ 上記プロダクトは首相官邸における安全保障政策、防衛省における政策、そして自衛隊の部隊運用にかかる意思決定や判断に活かされており、情報本部での仕事は、日本だけでなく世界の平和と繁栄に直結する極めて重要なものとなっている。



## ⑦ 防衛装備庁 —装備品のライフサイクルを通じて、日本の未来を紡ぐ—

- ✓ 防衛省の外局として設置され、装備品等の研究開発及び生産のための産業基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務とする。
- ✓ 防衛装備品の適切な研究開発や生産、維持整備等は、我が国の安全保障上、極めて重要。特に「厳しさを増す安全保障環境を踏まえた技術的優越の確保」、「諸外国との防衛装備・技術協力の推進を含む産業基盤の強靱化」などが重要な課題となっている。
- ✓ 防衛装備品の一層効率的な取得や、コスト管理の徹底を図るためには、構想から研究・開発、量産・配備、運用・維持、廃棄といったライフサイクルを通じた、一元的かつ一貫したプロジェクト管理が必要となる。防衛装備庁は、上記のような業務に取り組んでいる。





採用後配属される本省所在6機関では、各機関における施策の企画・立案等に従事

## 採用後は、本省内部部局での人事管理になります

係員

※本省所在 6 機関

① 統合幕僚監部、② 陸上幕僚監部、③ 海上幕僚監部、④ 航空幕僚監部、⑤ 情報本部、⑥ 防衛装備庁

1 年目

本省所在 6 機関において、内部部局勤務を見据えた内部部局と関連深い部署に配属。各機関の施策の企画・立案の補佐業務を行い、将来防衛省・自衛隊の中核機能を担うべく基礎的知識・技能等を修得

係員

3 年目

本省内部部局において、政策的業務に触れ、内部部局の仕事の仕方・ものの考え方を身につけるため、6 年間（3 ポスト程度）勤務

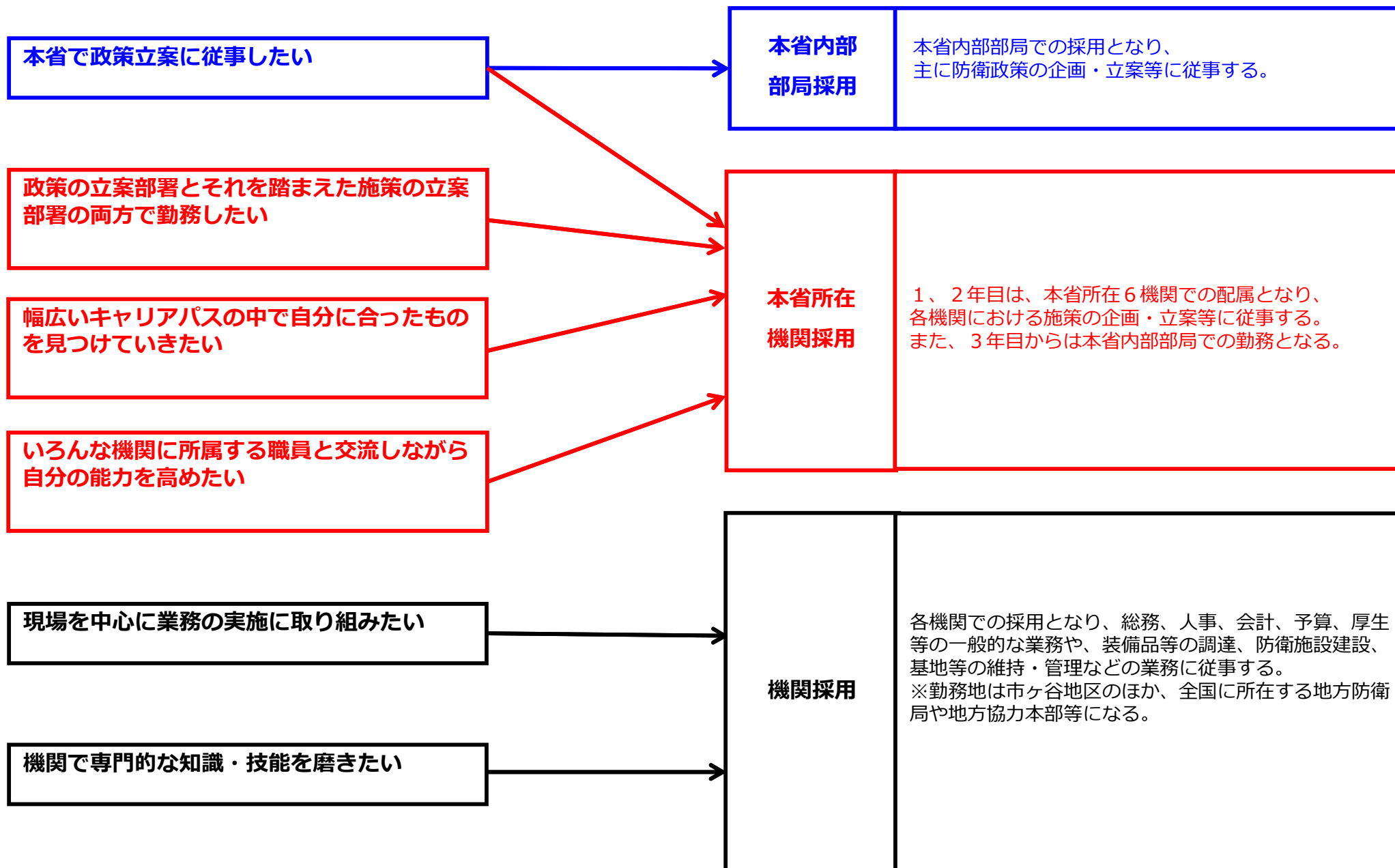
係長

9 年目

本人の希望、意欲、能力、適性等を踏まえ、本省内部部局を含む本省所在 7 機関において横断的に勤務

運営から政策を担う人材へ

# 採用区分



## 2023年度採用予定者数



## 【行政区分】

地区 機関	北海道	東北	関東 甲信越	東海 北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
防衛省本省 ※本省内部部局23名 ※本省所在機関60名			<b>83</b>							<b>83</b>
防衛大学校			<b>3</b>							<b>3</b>
防衛医科大学校			<b>3</b>							<b>3</b>
陸上自衛隊	<b>22</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>11</b>	<b>20</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>91</b>
海上自衛隊		<b>6</b>	<b>14</b>		<b>6</b>	<b>10</b>		<b>6</b>		<b>42</b>
航空自衛隊			<b>15</b>	<b>8</b>						<b>23</b>
情報本部			<b>16</b>							<b>16</b>
地方防衛局	<b>17</b>	<b>9</b>	<b>26</b>	<b>5</b>	<b>14</b>	<b>14</b>		<b>30</b>	<b>27</b>	<b>142</b>
※防衛装備庁			<b>42</b>	<b>2</b>						<b>44</b>
合計	<b>39</b>	<b>20</b>	<b>214</b>	<b>26</b>	<b>40</b>	<b>32</b>	<b>6</b>	<b>41</b>	<b>29</b>	<b>447</b>

※ 防衛省本省（内部部局、本省所在機関）及び防衛装備庁（関東甲信越）は全試験区分からの採用が可能。

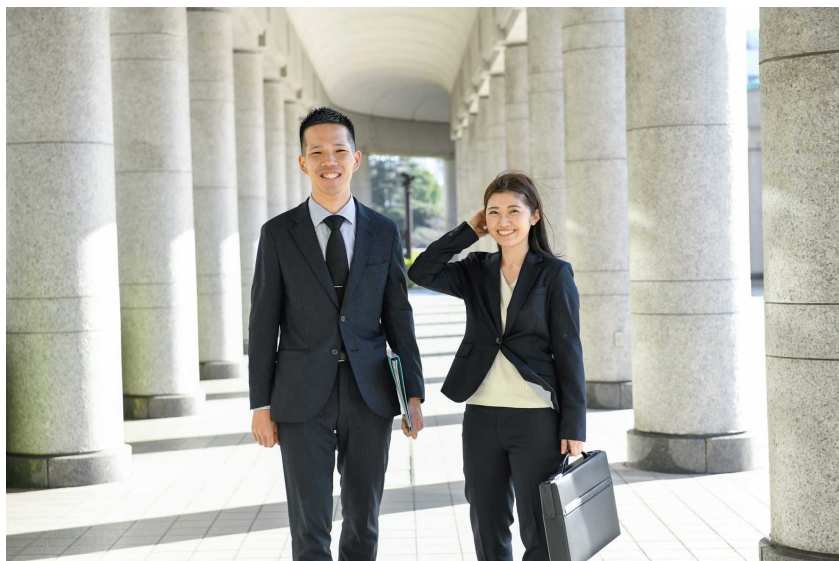
## —変化する世界、進化する採用—

check!

業務を通じて**現場の視点を獲得**し、  
「運営」から「政策」を担う新たなステージへ挑戦できる

check!

本省所在機関を**横断的に勤務**することで、  
大きなやりがいや幅広い経験を得ることができる



広大なフィールドで活躍したいという  
強い意欲を持った皆さんをお待ちしています!!

【防衛省HP採用情報ページ】

採用パンフレットや説明会情報等を掲載しています。

[https://www.mod.go.jp/j/saiyou/ippan\\_senmon/index.html](https://www.mod.go.jp/j/saiyou/ippan_senmon/index.html)

【お問合せ先】

防衛省大臣官房秘書課試験企画係

☎ 03-3268-3111（内線25005）



防衛省採用チームX（旧Twitter）

説明会情報や防衛省の魅力をリアルタイムでお伝えします！  
みなさまのフォローお待ちしております。

[https://mobile.twitter.com/MOD\\_saiyou](https://mobile.twitter.com/MOD_saiyou)



防衛省事務官・技官採用チームInstagram

説明会情報や防衛省の魅力をリアルタイムでお伝えします！  
みなさまのフォローお待ちしております。

<https://www.instagram.com/mod.saiyou>

